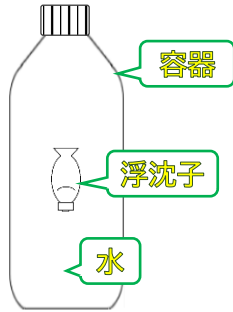


てづく ふちんし あくりよく 手作り浮沈子で握力をきたえよう！



ふちんし なに 浮沈子って何？



みず 容器の中、う 浮いたり沈んだりする
不思議な「浮き」のことで。

どんなときに
う 浮かんたり沈んたり
するのかな？

ふちんし つく 浮沈子を作ってみよう！

ざいりよう ○材料

炭酸用のボトルが使いやすいよ

ペットボトルに入る大きさだよ

※おもりの材料は、タレビンの口にはまる大きさで、さびにくいステンレスなどがいいよ
ナット:M6(内径6mm)
針金:太目で曲げやすいもの

ペットボトル(500ml) キャップつき タレビン(弁当用しょうゆ容器) おもり(ナットや針金)

○作り方

- ①タレビンにおもりをつけます ②タレビンを水に入れます ③水の量を調整します

タレビンの口にナットをはめるか針金をまくよ

タレビンの口を下にして、水を点線のあたりまですいこむよ

タレビンの先が水面から少し出るよう、タレビンに入れる水の量を調整するよ

- ④ペットボトルに水と浮沈子を入れます ⑤ペットボトルのキャップをしめます。

ペットボトルに空気が入らないように水を入れたら、浮沈子(タレビン)をうかべるよ

水がもれないようにしっかりとキャップをしめるよ

できあがり！

やってみよう！

- ①ペットボトルをにぎったり、ゆるめたりして浮沈子の動きを見てみよう。
(変化しないときは、浮沈子に入れる水の量やおもりの重さを調節しよう)
- ②30秒間に何回、浮沈子をペットボトルの底まで沈めることができるかやってみよう。
(右手、左手、両手でそれぞれやってみよう)

ペットボトルの種類や大きさ、入れる水の量、おもりの種類や重さなど、工夫して、自分にあった握力をきたえる浮沈子を作ってみよう！

観察してみよう！

- 浮沈子の中にある空気に注目して観察してみよう。ペットボトルを「にぎったとき」と「ゆるめたとき」の浮沈子の中の水面の様子や気づいたことを、図とメモで記録してみよう。

<p>ペットボトルを ()とき</p> 	<p>ペットボトルを ()とき</p> 	<p>考えたことや疑問に感じたことを書こう。</p>
---	---	----------------------------

浮沈子のしくみを調べてみよう！

- つぎの言葉を調べてみよう
「圧力」「水圧」「浮力」「パスカルの原理」「アルキメデスの原理」
- 浮沈子のしくみを説明してみよう
「水圧」という言葉を使って
「水圧」「浮力」という言葉を使って
「図」や「実験結果」を使って



実験をくりかえして握力がどのくらいUPするかな。
体力テストで全力をつくして、確認してみよう！！